

天理大学文学部 国文学国語学科

Department of Japanese Language and Literature



特長
1

少人数教育

1 学年40名の学生に対して、6名の専任教員が指導にあたっていますから、履修者ひとりひとりの個性を尊重した授業ができます。とくに、基礎演習科目と演習科目はほとんどのクラスが十数名程度、卒業論文演習は数名程度の規模で行われています。

特長
2

多彩な授業内容

国文学分野では、上代（奈良時代以前）から現代までのあらゆる時代をテーマとした授業が開講されていますから、学生のみなさんのどんな関心・興味にも応えることができます。国語学分野でも、文法・語彙・表現（文体）など、さまざまなテーマの講義が用意されています。

特長
3

段階を踏んだ指導

1 年次における概論科目や基礎演習科目で基礎的な知識を身につける段階から、4 年次において卒業論文演習を通じて卒業論文を書き上げる段階まで、きめ細かな、順を追った科目履修によって、ひとりひとりの能力と資質を確実に育てます。

天大国文の
4つの特長

特長
4

豊富な資料と環境

多くの国宝や重要文化財を含む 200 万冊の蔵書を誇る〈天理図書館〉の資料を駆使して、実証的で堅実な研究方法を学ぶことができます。古代の息吹きを今に伝える歴史的文化的環境に恵まれているのも大きな魅力です。



POINT
解説

高校までの「国語」と大学の「国文学」や「国語学」との違い

高等学校までの「国語」という教科には、日本の言語に関することがらと日本の文学作品に関することがらとが、両方含まれています。「国語学」はそのうちの言語に関する学問分野にあたり、「国文学」は文学作品に関する分野にあたります。2つの分野を設けて、それぞれ専門的に深く学んでゆきます。

ただし、一方を深く学ぼうとすると、もう一方の素養がどうしても必要になってきます。たとえば、『源氏物語』を文学作品として深く読み作品の真実に迫るためには、どうしても、その時代の言語（文法・語彙・文体等）についての知識がなくてはなりません。ですから、私たちの学科では、必ず、国文学と国語学のそれぞれの分野の授業を受けることになっています。

卒業論文の主なテーマ

人麻呂歌集七夕歌の研究
山上憶良研究―「貧窮問答歌」について―
『源氏物語』における音楽
『枕草子』の研究
平安朝文学における女房の研究
百人一首考
源義経の北国落ちについて
中世妖怪考

『今昔物語集』における笑いについて
『一寸法師』について
『好色五人女』論―恋物語における死について―
上田秋成『雨月物語』論―韻文とその役割―
『菅原伝授手習鑑』の研究
近世期の俳人と正岡子規―芭蕉と蕪村と子規―
宮沢賢治『銀河鉄道の夜』
芥川龍之介『河童』論

村上春樹『海辺のカフカ』論
ライトノベル論
マンガの言語表現について
キャッチコピーについて
新聞の見出しについて
大喜利におけるボケの分類
オノマトペについて
奈良県方言の研究

カリキュラム

科学部 共通 科目	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	国文学と国語学、 双方の基礎を学ぶ	多様な専門分野を理解する	くずし字の解読、テーマの解釈 などを通じて専門分野を深める	言葉を扱う専門家として 卒業論文の精度を高める
専 攻 科 目	大和の文化遺産を学ぶ／笑いと文化／演劇と人間			
	国文学基礎演習 国文学概論 国語学基礎演習 国語学概論 漢文学基礎演習	文学特論 （上代・中古・中世・近世・近代） 国語学特論 漢文学特論 国語表現法 書 道	国文学演習 （上代・中古・中世・近世・近代） 国語学演習 （構造・表現・実態） 古典文法 国語科指導法	卒業論文演習 卒業論文
	文学講読（上代・中古・中世・近世・近代）		古典文学史／近代文学史	

授業内容紹介

国文学基礎演習

国文学の研究に必要な基礎知識を身につける授業です。くずし字で書かれた古典作品を読んだり、江戸時代の和書を手にとって観察したり。基礎力を養うことで、新たな文学の魅力が垣間みえてきます。

国語学概論

発音・アクセントや文体、あるいは方言といった分野まで、普段の生活では気づかない日本語の特徴を紹介しながら、日本語研究の初歩について解説します。



近代文学特論

近現代文学を読むなかで度々出会う事象や気になる事項を取り上げながら、テキストの精読を行います。趣味の読書では気づかない文学の多様性や奥深さに触れることを目指します。

国語表現法

広告のコピー・俳句・随筆の創作などにチャレンジし、お互いに批評し合う実践的な授業です。もちろんそこに至るまでに、作品の分析を通じた表現方法の学習を実施。最終的には短編小説にまで挑戦します。

上代文学講読

七世紀後半の宮廷で活躍した遊宴の花とも称される額田王、やはり七世紀末から八世紀にかけての宮廷歌人で歌聖とも称される柿本人麻呂たちの多彩な作品世界を読み解きます。

国文学 5つの時代

上代…『万葉集』『古事記』など
中古…『伊勢物語』『源氏物語』など
中世…『今昔物語集』『十訓抄』など
近世…井原西鶴、上田秋成など
近代…夏目漱石、芥川龍之介など

国語学演習

日本語の中にある仕組みを調べます。例えば、「決して」と「絶対」はどう違うのかということ調べたり、外国人の作文にあった「私の高校生の時はおもしろいでした」という文がなぜ不自然に感じられるのかを考えたりします。

国語科指導法

教員として生徒を指導するために重要となる「現代の文学作品」「説明的文章」「古典文学」「IT を使った授業」の4つを実施しています。それぞれ数回の模擬授業を実施しており、指導時の注意点や工夫を体感します。



資格課程・プログラム

- 教職課程（中学校・高等学校教諭一種「国語」）
- 小学校教諭一種免許状取得プログラム（他校との協定）
- 図書館司書課程
- 博物館学芸員課程
- 日本語教員養成課程
- 伝道課程
- 矯正・保護支援課程

スキルアップ支援講座

- 教員採用試験対策講座
- 公務員講座
- 総合旅行業務取扱管理者講座
- 通関士講座
- 情報処理講座
- 秘書技能検定試験対策講座
- 就職対策集中講座

教員紹介

大谷 歩 講師

おおたに・あゆみ

飛鳥・奈良時代の詩歌や伝説について、中国の文献と比較しながら研究しています。特に、万葉集は人びとの喜怒哀楽やユーモアがつまっている、魅力的な作品です。古代の人びとの言葉と心をとおして、日本文化の源流を探求しましょう。



上代文学

原 豊二 教授

はら・とよじ

平安時代に花開いた仮名文字による文学作品は、大きな潮流となり、後の世に伝わりました。源氏物語が特に知られていますが、他にも個性的な作品がたくさんあります。時代をさかのぼって、その息づかいに触れてみましょう。



中古文学

西野由紀 教授

にし の・ゆき

江戸時代の作品を構成する要素は、ことばだけではありません。たとえば、井原西鶴は自身で挿絵を描いた作品を残しています。ことばの表現だけでなく、さまざまな要素にも目をくばりつつ、解釈の可能性を探ってみましょう。



近世文学

北川扶生子 教授

きたがわ・ふきこ

まったく異なる文化がぶつかりあうなかから生まれた近代日本の文学には、読み出したらやめられないおもしろい作品がたくさんあります。誰もが知っている古典から、隠れた名作まで、その魅力にぜひ触れてみて下さい。



近現代文学

鳥谷善史 准教授

とりたに・よしふみ

大阪出身の私は「見ない」を「ミーヒン」といいます。でも、若い世代では「ミヤン」といいます。なぜ、どのような理由で、このような変化が起こるのかを言語調査や先行研究をとおして科学的に一緒に探ってみませんか。



国語学

社会で活躍する卒業生からのメッセージ



人は成長したいと思えばいつでも成長できる

おかもと か な こ
岡本圭那子 ●2005年卒業
奈良県立橿原高等学校 教諭

教師になった当初は不安や戸惑いも多く、がむしゃらに日々を過ごしていました。でも私が言った一言が心に残っている、救われた気持ちになったと言ってくれる生徒がでてきて、心から伝えようと思えば伝わるのだと実感しました。教員をしていて決して嬉しいことや楽しいことばかりではありませんが、日々成長していく生徒とともに自分も成長できるのがこの仕事の魅力だと思います。正直申しますと、私はもともとこのようなところで偉そうにコメントするほど、勉学に励んでいたわけではありません。むしろ

勉強が苦手で、何となくやり過ごしていたように思います。ですが大学に入り、古典のおもしろさを知りました。天理大学で学んだことで、苦手だったものが好きになり、今の仕事に繋がっています。担当の先生も私たちに親しく接してくださり、研究室で友達や先生と一緒に昼食を食べていたことは本当に良い思い出です。私は学科会活動にも積極的に参加していました。この活動を通して、たくさんの人と出会い、社会に出てから役立つことをたくさん学びました。大学に進んだからには、勉学に励むのは当然ですが、それ以外の活動にもぜひ参加してみてください。人は成長したいと思えばいつでも成長できます。そのチャンスも自分の心次第でたくさん巡ってきます。私は社会に出て、今、そのことを強く実感しています。



人のつながりこそが財産

ふくやまよしのぶ
福山好伸 ●2009年卒業
紀北町町民センター図書室 司書

現在、図書館司書として、図書の購入や整理、資料の管理などの仕事をしています。昔から本を読むことが好きだったので、本に携わる仕事に就けたらいいなと思っていました。町民の方に「こういった本があります」「この本はどうでしょう」とご提案をすることも多く、そういう時に「この本、良かったよ」「この作家さん好きになりました」と言っていたくれるのはとてもうれしく、この仕事の魅力であると感じています。大学4年間は、文章に目を通すということを徹底してやりました。正直それほど楽しいとは言えない（好きではない）分野の本

や論文もたくさん読みました。授業に必要な資料を探す時は大変でしたが、そんな時にはよく先輩や先生から「こういった本（検索手段）がある」と教えてもらいました。ある意味、それは今の仕事で私が従事していることと同じであり、自分の司書としての仕事の原点であると思っています。天理大学は学生と先生の距離がとても近い大学です。授業のことなどまじめな話からちょっとした世間話まで、それこそ夕飯の時にでも先生方といろいろなお話ができました。先生方だけではなく先輩とも後輩ともどんどん繋がっていきました。人のつながりこそが大学生活を最も豊かにしてくれる財産だと思います。ぜひ一度声をかけてみてください。きっと誰かがすくい上げてくれますよ。さしあたって学科会室や国文共同研究室がオススメです。



論理的思考を武器に

ふじ き え り こ
藤木恵理子 ●2013年卒業
漫画家

卒業後IT企業で3年ほど仕事してから、漫画家として独立しました。会社員時代は、Web広告の運用が主な業務で、効果改善やクライアントへの提案、レポーティングを行いました。広告の仕事というデザイン系を思い浮かべる方が多いですが、Web広告は全く違って毎日数字との戦いです。理系のほうが向いているのではないかという内容でした。天理大学の国文学科卒なのになぜこの仕事できたのかというと、私が数字に強かったなどということはなく、他ならぬ天理大学で学んだことが活きたからです。大学の文学は高校までの国語とは全く違います。物語の中に疑問を見出し、その原因と答えを物語の中と外から広い視野で論理的に解き明かします。ゼミも少人数であったからこそ、一人ひとりの考える

力が磨かれました。「疑問を見出す力」「論理的に考え、証明する力」この二つが、広告の仕事をする上で非常に重要な役割を果たしたのです。その後、夢だった漫画家としてデビューするときにも、大学で学んだ論理的思考に助けられました。話を組み立てることは、その辻褄を合わせ、セリフの一つ一つに関連性を見出して過去と未来を繋げていく必要があります。連載となると、一つの話から、作品全体に至るまで、広い視野で考えなければなりません。まだまだ私も勉強が必要ですが、ここまでやってこられたのは、今まで学んできた論理的思考のおかげだと思います。すべての経験は無駄ではありません。自分で無駄だと決めつけてしまうと、それに費やした時間と自分を否定することになります。まず何かに意味を見出してしっかり吸収すること。「文学部なんて就職に困るでしょ」なんて思う人は特に、無駄にしないという考え方を忘れずにいてください。何を自分の糧とするかは、いくらでも自分で決めることができますよ。

© 堀立しの
幻冬舎コミックス



広島大学大学院博士課程前期に進学
平安時代から室町時代までの
王朝物語を研究したい

小林理正 2016年卒業
こばやし・ただまき



古典に興味をもったのは高校生の時ですか？
じつは違うんです。もともとは観光業などに興味があって、最初1年間、別の大学に通ったのですが、その時にイギリス人の友達とお互いに自分の国の文化について話をしていた、ぼくは『源氏物語』を挙げたんです。でも、内容について深く語ることができなかった。そしたらその友達に「それはイギリスでいうところの『ロミオとジュリエット』の内容を語れないのと一緒にじゃないか」と言われて……。内容を語れるくらい知っていないと、自国文化を理解していないことになると思うんですね。頭をガツンと叩かれたかんじでした。たしかに自分は自国文化をあんまり知らない、自国文化を知らないとグローバル化の波には乗れないぞと思いました。

それで平安文学の輪講に入ったのですか。
輪講は勉強になりました。週1回メンバーと先生で集まって、その週の担当者が調べてきたことを発表して、みんなでそれに対して意見を出し合いました。テーマや問題設定は担当者の自由です。自由な雰囲気意見で意見を言い合えるのが楽しかったですね。

テーマがみつからない人はいないの？
最初は先輩や先生が教えますが、みんなすぐになに

受験生への
メッセージ

大学はたくさんあるけれど、自分に合った大学を選ぶことは、そこで何を受け取ることができるのかを考えることだと思います。ぼくにとって天大国文は、やりたいことをどこまでもサポートしてくれる大学でした。

かしらの問題提起をしてきますよ。自分の主張を通すためにどんな論拠が必要なのか、どういう説明の仕方をしたら説得力があるのか、そういうことを考える練習になりました。

**大学院への進学は最初から考えていたの？
それを意識してどんな勉強をしましたか？**

ぼくはわりと最初から考えていました。そのためになにをしたというわけではないのだけど、共同研究室にあった中古・中世の物語文学はほぼぜんぶ読みましたね。共同研究室に入り浸って、そこにある全集を空き時間に好きなだけ読んでいました。慣れると現代小説とあんまり変わらないかんじで読めました。

**物語文学は心理描写が多いけど共感して読んだの？
自分にもこんなことがあったというような？**

いや、光源氏ほど女性を口説けないでしょう(笑)。むしろ映画をみているようなかんじで読みました。心理を追いながら読むのだけど、共感できる部分とそうでない部分がありましたね。たとえば夕顔が死ぬ場面は共感して読めたけど、葵の上では共感できないとか……なぜなんだろうと考えると、逆に自分のことがわかりました。 ※輪講：課外活動の勉強会 (現在は大阪大学博士課程後期に在籍)

なぜ司書になりたいと思ったの？

小学生のころ、「お話しの会」というのがあって、司書の方がいろいろな本を紹介されるんです。紹介された本を実際に読んでみたんですが、とてもおもしろくて。それがきっかけで本が好きになりました。わたしと本とを結びつけてくれたのは司書の方のおかげ。わたしも司書になって、子どもたちに本の面白さを伝えたいと思うようになりました。

司書試験の対策はいつごろからはじめての？

司書の募集があるかどうかは、4年次にならなければわかりません。あるとわかってから動いていては遅いので、2年次の2月から一般企業と併願する方向でSPIや公務員中級試験の対策をはじめました。ふりかえってみると、もうすこし早く始めたほうがよかったと思います。

その後、具体的には何をしたの？

3年次の夏からは、エントリーシートを書いて、企業のインターンシップに参加すると並行して、自治体の説明会に積極的に参加しました。企業のことや自治体のことを知ることができ、その後の面接で役立ちました。

4年次にどれくらい司書の募集があったの？

年によっては採用がないこともあります。ラッキーな

受験生への
メッセージ

司書になるのは「狭き門」ですが、最初からあきらめるのではなく、どんどん挑戦してみてください。また、就職活動は一人で進めず、かならず誰かに相談するべきです。天理大学のキャリア支援課では親身になってサポートしてもらえるので安心です。

ことに、いくつかの自治体で募集があったので、複数チャレンジすることができました。本気で司書をめざすなら、就職先は全国規模で考えることが重要です。

現役で司書の採用試験に合格するコツは？

早めの準備は当然ですが、相手のことを知ることが大切です。面接試験では決まって、図書館に行ったことがあるかどうか、そのうえで感想や改善点を質問されました。面接前までに現地に行き、感想をメモしてまとめたのが役立ちました。また、その図書館がある自治体の情報を把握し、自分が司書として地域にどのように貢献できるかも事前に考えておきました。

どんな司書になりたいか、理想の司書像はある？

子どもたちに本の面白さを伝えたいというのが司書になりたいきっかけでした。それもあるって、ヤングアダルトサービス(中学・高等学校世代向けのサービス)に携わりたいと思っています。本が好きの人が増えれば、活字離れも解決できるんじゃないかなと。また、司書は、人と本をつなぐだけでなく、人と人をつなぐ役割も果たしているはず。これまでいろいろな人に支えられて司書になる夢を叶えました。今度は自分が地域の人たちを支え、貢献したいですね。

図書館司書に現役合格
図書館で働くのは大学入学前からの夢
地域に貢献できる司書をめざす

黒住涼香 2023年卒業
くろすみ・すずか



天大国文を選んだのはなぜですか？

うちはおねえちゃんも天大国文の出身だから、その話をきいて「国文、楽しそう」と思って入りました。ちなみに妹も天大国文に在籍しています。国文で学ぶ〈話す〉〈聞く〉という基本的なことがちゃんとできたら、就職してもやっていけるだろうと思ったのもあります。

卒論は近代文学だったけど、最初から近代文学が好きだったの？

高校生の時は、読書は好きだったのだけどあまり近代の作家の作品は読んでおもしろいと思って、大学生になってから近代に興味を持ちました。

一番楽しかった授業は？

講義を聴くのも楽しかったけれど、やっぱり一番は3年生の時の演習です。

どんな授業でしたか？

発表者、司会者、板書の係があって学生が順番に担当するんです。そして発表に対して全員が意見を言う。最後に司会者が今回の作品はこういう切り口で読めるというまとめをしました。もりあがってとても楽しかったです。意見がスムーズにでなかった時には先生がフォローしてくださいました。

受験生への
メッセージ

4年間たのしかったです。人にめぐまれていることと、本がいっぱいあるところは誇れます。天大にきてよかったと思っています。

卒論のテーマはどうやってみつけましたか？

私は、3年生の時の演習で発表した内容を発展させて、4年生で卒論を書きました。

どういう内容ですか？

井伏鱒二の『鯉』という作品に、「私」と「青木」という人物がでてくるのですが、その2人の関係について論じました。3年生の演習で発表した時は、ゼミのみんなは、2人は同性愛的な関係じゃないかって言ったんです。私は、そこまで深読みする必要はなく、精神的なつながりが強い友情関係だと思いました。

同性愛的なつながりと精神的な友情の違いを論証するのは難しそうだけど？

まず男色の歴史について調べて、作中に植物が3種類出てくるのですがその当時の花言葉を調べて、鯉の色が白色というので、白色の意味を調べて、それらをぜんぶまとめて、論じました。

当時の花言葉は今とちがうの？

ちがいます。国立国会図書館のデジタルアーカイブで、その年代の花言葉というのを調べました。また作品がかかれた時代には、同性愛的な表現が少ないことも調べました。調べ物をするのも、書くのも楽しかったです。

JAならけんに就職
卒論では井伏鱒二の作中人物の
関係について論じました

浦久保月菜 2018年卒業
うらくぼ・るな



教師をめざすようになったきっかけは？

小学生のころ、職員室へ行ったときの先生たちの姿がかっこよくて、そんな「かっこいい大人になりたい」と思ったのがきっかけでした。

クラブ活動にも積極的に取り組んでいたけど、なぜ「体育」でなく「国語」だったの？

部活も楽しかったんですけど、やっぱり勉強するほうが楽しくて。中学のころから国語は得意でした。高校生になってからの国語の授業では、いろんな知識をもちこみながら先生自身が楽しんでいたのが印象に残ってますね。教材をもとにどんどん話題を展開していく先生で、その面白さに引きこまれました。

教育実習ではそんなふうに面白い授業ができた？

戸惑いながら授業をしていたんですが、生徒たちに助けられましたね(笑)。授業中に生徒が投げってくる質問に、ちゃんと答えられるように帰宅してからめちゃくちゃ勉強して。自分と生徒とが、互いに勉強し合いながらすすめていく感じが楽しかったです。

大学の講義のなかで役に立った授業はある？

鳥谷先生の「国語科指導法」は、指導案の作り方もきめ細かく教えてもらえて、模擬授業もそれに添ってうまく作ることができて。実践的な分、教育実習

受験生への
メッセージ

勉強と部活の両立は難しいんですけど、時間の使い方を工夫すれば、目標は達成できるはず。どうしたらいいかってあれこれ迷うよりも、効率的でなくてよいから、まず「やる」のが大事だと思います。

教員採用試験に現役合格
めざすは話題の「引き出し」が豊富で
面白い授業ができる先生

中島正陽 2020年卒業
なかしま・しょう





——まず課外活動の **輪講** の話をしてもらいましょう。

田中百代（2014年卒業） 課外活動として先生と一緒に行う文学研究会で、時代ごとにわかれていて、それぞれ活動内容が違います。万葉輪講はアウトドアが多いよね？

山村聡美（2014年卒業） そう。歩いて泊まって。たとえば柿本人麻呂の歌碑が鳥羽にあるので、先生と夏に行きました。事前にしお리를作って。

——しおりは先生が？

山村 天理市の万葉歌の解説も作りました。私の名前で市の観光協会のHPにも載っています。

——へえー！ それはどうしてそうなったの？

山村 先生のところに依頼があったとかで、この天理市で詠まれた万葉歌の解説文を作成しました。もちろん作業は先生と一緒にしてくださいました。春休みや夏休みには、ふだんの輪講で勉強した歌の歌碑があるところを訪ねる旅行に行きます。

——その和歌が詠まれたところに行くと感慨深いものがある？

山村 はい。実際に歌碑があるところって、今でも万葉の時代と山とか川とか地形は同じだったりするから、この風景をみて詠んだんだと思う。明日香にも行ったけど、古墳も歌碑もいたるところにあって。

——中古輪講は？

田中 中古は、通常はゼミみたいに一人ずつ発表してディスカッションしてという勉強会です。夏休みとか春休みには、物語ゆかりの場所を訪ねて、旅行に行きます。百人一首をしたり、くずし字を翻刻したりもします。やっぱり室町写本や江戸写本が読めるのはおもしろい。今の自分たちとつながった気がする。

——現代輪講は？ 今日の参加者にはいないけれど、聞いていることを教えてください。

山村 すごく盛んだよね。人数多いし。

田中 ふつうの研究会発表もするけど、自分で書いた小説を配ってディスカッションしたりもしているみたい。

山村 小説書く人もけっこういるよね。先生に見てもらったり、みんなに見てもらったり、小説集も出していましたよ。

——次に **学科会** の活動について

鍛冶屋美樹（2015年卒業） 学生が主体となって、学科の企画・運営をします。イベントごとに集まって楽しいことをしよう、という会です。学科公認の会だから、先生たちが学会を主催する時にお手伝いをしたりもします。新入生が入ってきたら、まずは新入生歓迎会です。

——新入生の履修登録のお手伝いとかもしているよね。

鍛冶屋 はい。新入生歓迎会で同じ班になったら、そのまま一緒にごはんに行ったりして、だんだん仲良くなるので、授業のこととか、友達づきあいの話とか、先生とどうつきあったらいいのかとか、将来のこととか、いろいろ相談にのります。体育大会や、夏にはサマーキャンプがあります。去年は琵琶湖でした。場所を決めて、バスを手配して、すべて自分たちで企画するから楽しい。

——大学祭も盛り上がるよね。

鍛冶屋 学祭も学科会が中心になって、模擬店を出したり、灯籠というハリボテをみんなで作ったり、劇やパフォーマンスをしたりして、すごく盛り上がります。

——劇とかよく後輩を指導しているよね。大変でしょう？

鍛冶屋 どんな言い方をしたら伝わるのか、すごく考えますよ。本当にいろんな人につきあうので。とっても悩んだけど、最後に後輩が「やってよかった」って言ってくれたんでうれしかった。自分は教員を目指しているので、いい経験になったと思います。

田中 後輩を積極的にリードするよね。

鍛冶屋 自分たちで盛り上げていこうっていうのはあります。楽しんでやらないと楽しくならないので。

——最後に、天大国文の特徴とか、思い出を聞かせてください。

田中 ほかの大学の友達に必ず驚かれるのが、大学生が自由に使える **共同研究室** があるということ。しかもすぐ隣に本がたくさんある書庫があって、パソコンやコピー機も自由に使える。

——私も最初は驚きました。ずっといるんだよ。住んでるのか！っていう勢いで（全員、笑）。この中で一番、研究室滞在時間が長かったのは？

山村 私かな。

——山村さんは、授業料半額制度を受けていましたよね。

山村 はい。センター利用入試の成績によって、4年間、授業料半額でした。

——どれぐらい研究室にいた？ 私が知るかぎりいつもいたんだけど。

山村 朝9時半にきて…。ときどき授業に行ったり、情報ライブラリーとか図書館で調べものをする。でもコピーは研究室でするから、3往復ぐらいする。それから研究室が閉まるまでいました。——週に何日？

山村 正直、週5日（全員、笑）。

——週5日！ 9時半から夕方6時以降に閉まるまでね（笑）。

田中 ホームなんですよ。結局、研究室が。



鍛冶屋 なんか、いるだけで落ち着く。

山村 いろいろ気軽に聞けるよね。あれ？この本どこにあったっけとか。

鍛冶屋 卒論ゼミが違う子たちでも、今こんなやってんねんけど、どう思う？って。わかるとか、わからんとか言ってくれるし。情報交換の場。

尾尻美希（2015年卒業） なにげない雑談もおもしろくて。

——なにかとみんないるよね。本（資料）があるからっていうのはわかるけど。

山村 本とあと、お菓子がある！（全員、笑）学生では買えないような高級なお菓子を先生方がくれたり。

田中 それから研究室で集まるから、学年とかゼミが違う子たちともみんな仲良くなれる。

山村 みんな仲良いよね。

田中 安心感があるんじゃない？ 名前を知らない子でも研究室に来たら教えてくれるし、楽しめるっていう。アットホームで。田舎といえば田舎だけど。

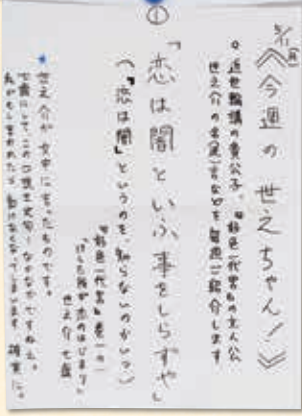
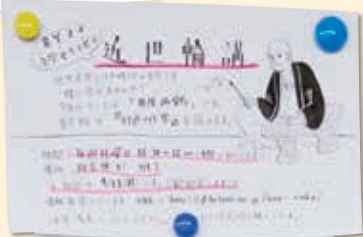
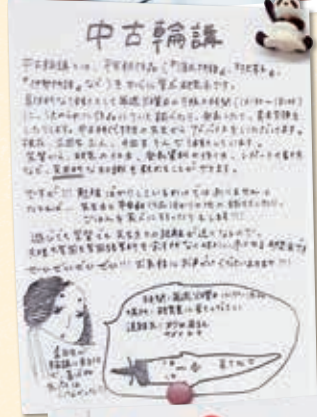
尾尻 私は高校の時、都会に出て人混みの喧噪の中で勉強したくないと思って、それで天大に来たのだけど、やっぱり落ち着くっていうか、そのほうがよかったと思う。豊かな自然に囲まれた環境だし、すぐ近くに山之辺の道とか石上神宮とかあって歴史を身近に感じるし。

田中 へんに気をまわさないでいいし、張り合わなくてすむから、そのままの自分でいられる。

山村 受け入れてくれる。私の居場所があった、って思った。——今日はありがとうございました。いつでもまた来てくださいね。



輪 講



サマー
キャンプ



大学祭



共同
研究室





——それぞれ卒業年と教員としての所属を教えてください。

玉井 絢 2014年卒業で、奈良県の中学の教員です。

鍛冶屋美樹 2015年卒業で、大阪府の高校の教員です。

畠山真稀 2016年卒業予定（座談会当時は在学中）です。大阪府の高校です。

——みなさん、**教職課程**は大学に入った時点で考えていた？

玉井・鍛冶屋・畠山 考えていました。

玉井 教職がとれるから天理大学を選びました。

鍛冶屋 国語では天理が強いから、天理は教職とるのにいいよ、と聞いて天大にきました。

——実際、先生になってみてどう？ 在学中の畠山さん以外はもう現場に出ているけど。

玉井 しあわせ。生徒とふれあうのがたのしいです。

——でも夜遅くまで授業の準備とかするんでしょう？ それは大変じゃないの？

玉井 大変は大変だし、そうやってがんばって作った授業が翌日うまくいかなかったら、すごくへこむけど、周りの先生たちが声をかけてくれたりするから、力がでる。

——この仕事はおススメだよっていえる？

玉井 担当している生徒たちの卒業式に、こんなに達成感があってしあわせを感じられる日はないと、もう一生教師でいたいと思いました。その時にたまたま天大の学生がディアティーチャープログラム（奈良県主催の教師養成塾）で来ていたのだけど、その子もぜったい教師になるって言って、その後の採用試験に受かっていました。やっぱり現場の魅力は大きいです。

鍛冶屋 私も、最初どれだけ話しても伝わらないと思う生徒がいたのだけど、それでも一年たったら「この子、言い方変わってきたな」と感じるようになって、それから「心通じた！」という瞬間があって、一生教師をやっていこうと思いました。

玉井 中学校も高校もたった3年やけど、めっちゃ貴重な3年だと思うんです。その3年に関われる仕事ってすごいことだと思います。



——天理大学では、**教育実習**の時に、教員が実習校にご挨拶にいったって学生の授業を見せてもらうのだけど、玉井さんの授業では、教室の隅から隅まで自分の方向に引き込んでいるなど思いました。だから後で「教師にむいているね」と言ったよね。

玉井 先生からそんな言われたら、絶対教師になるでしょう（笑）。うれしかったですよ〜。

鍛冶屋 私の時は、N先生が来てくれはりました。実習校に天理大学出身の先生がいあって、「N先生やんなあ。20年前と変わらへん」って感動してはって……。

一同（笑）

玉井 実習の経験は大きかったです。実習最後の日に生徒が歌を歌ってくれて、色紙もらって、私、感動してめっちゃ泣いて、教師になろうと思いました。

——そこから、実際に**採用試験**に合格するまでは大変だったと思うけれど、気持ち折れそうになったりしなかった？

鍛冶屋 私の場合は、10年ぐらい前に天大を卒業して高校の先生してはる方からいろいろ教えてもらいました。

——その先輩とはどうやって知り合ったの？

鍛冶屋 国文学会の時とか、研究室に遊びにきてくださった時とかに教員になりたいという話をして、それからエントリーシートをみてもらったり、**模擬面接**や**模擬授業**をみてもらったり……。

畠山 私もみてもらいました。

鍛冶屋 その先生が「他にも教員希望の後輩がいるなら相談に乗るけど」って言ってくれはって、それで真稀ちゃんも一緒に。

——ずっと下の後輩にそこまでしてくださったのは、やさしいね。

鍛冶屋 他にも、天大卒の中学・高校の先生には本当によく指導してもらっています。

畠山 卒業生の方のお話といえば、大学の「**国語教員を目指す学生のための勉強会**」で、国文の卒業生で現役の中学・高校の先生をしてはる方のお話を聞いたのは大きかったです。今の学校現場での問題とか、実際どういう授業をするのかとか。

——ほかにも天大国文には採用試験対策のいろいろなプログラムがあるよね。

畠山 私はほぼぜんぶに参加しました。**キャリア支援の教職講座**では、教員採用試験の過去問を配ってくださったり、模擬試験をしてくださったり、「大阪府だったらチャレンジテストあるよ」というような情報も教えてくださったり、面談も何度もしてくださって自分に何が足りないのかを知ることができました。キャリ



ア支援の授業は普通の授業料とは別に費用がかかりますが、外部の専門学校に行くよりは安くて、プラスになったと思います。

——**教職の共同研究室**にも行きましたか？

畠山 行きました。教職のU先生に面接練習や模擬授業をみてもらいました。

鍛冶屋 私も教職の共同研究室で面接練習をしてもらいました。あとグループ討論の練習もみてもらいました。

——それから**国文研究室**でも、対策講座や面接練習などやっていますが……。

鍛冶屋 私は両方出させてもらいましたが、なかなか厳しくて、特に面接練習なんかは、なんでこんないじわるな質問されなあかんのかなと思ったこともありましたが（笑）。でも終わったあとでおいしいコーヒー入れてくださって……あの味は覚えています。

畠山 私も両方受けました。あと私は個人的に先生方に相談に行きました。ももとは「畠山さんは控えめやから」と言われるほうなんですけど、そこはもう積極的に。採用試験の模擬授業の3日前になって不安になって、国語科指導法の授業でお世話になっていたN先生に「緊急です」ってメールを出して……。

玉井 「緊急です」って、N先生もびっくりしはったやろな。

一同（笑）



畠山 そうしたら夏休みだったのに、N先生が大学に来てくださって、丸一日、模擬授業を見てくださった。N先生のアドバイスで模擬授業の内容をぜんぶ作り直したんです。それにその前にも……、私は**学校推薦**をもらったので、採用試験の一次が免除だったのですが、そのための作文で悩みまして、国文の先生全員に相談にのってもらいました。

——ありましたね（笑）。

畠山 国文の先生全員にみてもらって、次の段階ではK先生になんども見てもらいました。同じように学校推薦を受けた先輩が、K先生に作文みてもらって合格したって聞いたから、もう、研究室を掃除してはるところまで、「今いいですか」って呼び止めて添削してもらって……。

玉井 掃除してはるところまで！？

——そういう積極性は必要だよな。

畠山 学校推薦もいただいて、先生方にもよくしてもらって、なのに自分の実力が追いつかなくて悩んだ時期もありました。でも、そういう時は教育実習で生徒にもらった色紙をみて気持ちを立て直しました。

玉井 生徒たちのことを思うとがんばれるよね。

——やっぱり生徒が力になるんだね。みんなが生徒から大事なものを受け取っているのが伝わりました。今日はどうもありがとうございました。

国語教員を目指す学生のための勉強会

高校教員による模擬授業



現任教員から授業進行のテクニックを学ぶ



教育実習報告会

教育実習の体験談を後輩たちに伝える



現任教員との交流会

質疑応答の様子



天理大学 〒632-8510 奈良県天理市杉之内町 1050

国文学国語学科共同研究室

☎ 0743-63-9037

<https://www.tenri-u.ac.jp/lt/jpl/>

天理大学入学課

☎ 0743-62-2164

<https://www.tenri-u.ac.jp/>